

看護職員の負担軽減及び処遇改善に関する計画書

社会福祉法人京都博愛会 京都博愛会病院
看護部

No.	項 目	令和5年度		令和6年度	
		活動内容	結 果	活動内容	結 果
1	看護職員の負担軽減 業務の簡素化	・医療環境改善委員会（書面）で各部門に看護部の状況を伝える ・タスクシフト／シェアの推進	・タスクシフト／シェアの必要性を看護部内では確認できた	・令和5年度の活動をすべて継続する ・電子カルテ導入（令和6年8月～） ・入院リース（要望書提出） ・薬剤カート／病棟クラークの導入（要望書提出予定）	・連携を密にするために対面での開催を要望する声が上がった（10月以降検討）
2	人員確保	・紹介業者、派遣会社を通して計画的に採用する ・短時間（夜専）、学生、国籍を問わず多様な勤務形態を受け入れる ・病院見学会を再開する ・「看護の日」毎日新聞に広告 ・ホームページ更新 ・「看護採用計画」を病院経営管理委員会で報告	・派遣会社を通して看護補助者は確保できた ・実習受け入れ学校からも見学希望者があった ・見学希望者から複数名が採用につながった ・業者を通しての採用に関して病院の理解と人事課の協力を得ることができた	・令和5年度の活動をすべて継続する ・中途入職者には教育担当者がオリエンテーションをする	・紹介業者を通して看護師の確保ができた ・入職当日にオリエンテーションをすることで現場の混乱が減少した
3	離職予防 安心できる職場風土の醸成	・看護部の声（赤ポスト）設置継続 ・日勤帯の人員を確保するため看護補助者の準夜勤務を廃止して「遅出2」で対応する	・離職予防担当者が面談する ・日勤帯から外れる「遅出2」に対して手当支給の要望をする	・令和5年度の活動をすべて継続する ・看護部職員アンケート実施（令和6年6月実施・10月公表予定） ・アンケート結果を病院（法人）に要望として提案	・「遅出2」手当の新設 ・超過勤務（前残業等）、休憩時間の取得にばらつきがあり意識の統一ができていないことが判明した